

抗がん剤治療と患者さんがうまく付き合っていくために 薬剤師が出来ること

がん薬物療法認定薬剤師

かみしま
上島

きよひで
聖秀

近年、抗がん剤の種類や組み合わせが増えたことや、それに伴いさまざまな副作用が現れるようになったことは、前述の話にもありました。そのような複雑化する抗がん剤治療において安全に治療が行えるように、薬剤師はさまざまな確認を行います。適応や投与量、スケジュール、検査値、薬の飲み合わせなど投与に問題がないか、薬剤師が確認をしたのちに患者さんへ投与となります。



抗がん剤治療は他の薬剤治療とは異なり、毒性が強く、副作用に注意が必要です。治療内容によっては、副作用が避けられない場合もありますし、時に致命的な状態となることもあります。私たち薬剤師は治療開始の際、患者さんに正しい抗がん剤の知識や副作用時の対応を知っていただくために薬剤指導を行います。さらに治療開始後の副作用発現時には、副作用の管理を行うことも薬剤師の大事な役割です。当院では点滴中に薬剤師が患者さんのもとに訪問し、体調の変化や副作用の有無などを確認しております。必要に応じて主治医に副作用対策の薬剤を提案し、患者さんがうまく薬と付き合っていくように支援させていただきます。

現在当院では、お薬手帳を活用して保険薬局薬剤師と連携を行っています。抗がん剤治療を行った際に、お薬手帳に治療内容、治療当日の副作用発現状況などを記載しております。保険薬局ではその



内容を確認し服薬指導を行い、また必要に応じて数日後には、保険薬局薬剤師が電話でのアフターフォロー（自宅での副作用状況の確認）を行っています。外来でも安心して治療が行えるように、地域の薬剤師全体で患者さんを支えていきたいと考えています。

患者さん本人が副作用とっていないことでも、副作用であることもあります。体調変化で気になることがあれば遠慮せずに薬剤師にご相談ください。

面会制限の緩和について

新型コロナウイルス感染症対策として面会を禁止しておりましたが、段階的面会を再開しております。詳細につきましては、院内掲示または当院HPをご参照ください。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院総合サポートセンター

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

(URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>)

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280(病院代表)



富山ろうさい病院だよりのバックナンバーはこちらのQRコードからも確認できます。